

## CONTENTS

- 「DUTCH LILY DAYS 2014」 観察レポート その 3
- 「今が植え時！」 春咲球根(ドライセール)商戦真っ盛りのオランダを取材しました
- 豊明花き『JFI トレードフェア 秋』でドライセールと花芽付き球根の提案
- 「英国・ユリの大家に聞く」～RHSJ 主催サマーナイト・フォーラム 2014 レポート
- 『高知県リリーズファミリー』の設立総会が行われました。
- 高知の花で「いい夫婦の日」！ 11月22日に東京・二子玉川で展示イベント開催
- 北九州花ロマン祭 2014 にリリーエンジェル柳美津絵さんが参加します！
- リリーエンジェル 2015 予告ムービーを公開！
- リリーエンジェル 2014 活動報告 8月から10月
- 『フローリスト』11月号 ～愛おしきユリに迫る YOUR LILY ～16ページの大特集

## ■ 「DUTCH LILY DAYS 2014」 観察レポート その3

5月20日～23日の4日間、オランダ国内16社のユリ育種会社とユリ球根輸出会社で行われた「ダッヂ・リリーデイズ2014」で見たユリのあれこれ…… 前号に引き続き第3回めのレポートです。

The Originals BV 社



「ダッヂ・リリーデイズ 2014」の開会式は、創業25周年を迎えたThe Originals BV社で行われました。エントランスから続くアプローチに飾られた「your lily」のキャッスルを抜けると、色とりどりのユリが飾られた大きなテーブルを中心に、Wellantカレッジ学生によるコンペティション作品が会場を賑やかに飾っていました。若い世代によるオープニングアクトは開会宣言の後、舞い散る紙吹雪のなか盛大に行われました。

The Originals BV 社



(左端) つぼみが先端から開くのではなく真ん中から開くJOOP(ピンク)は、人気の高い暑さに強い品種です。

(中左) 台湾で人気のOT Outback(黄)は透き通った黄色が綺麗でした。

(中中) 花びらのスポットやストライプが独特の存在感を示しています。Tigerwoods(赤/白)

(中右) 花弁の色と約のオレンジがとても綺麗なアジアンティックのナンバー品種(名称未定品種)です。

(右端) 南米ブラジルでは切り花より鉢物がよく売れるそうです。丸い花弁が可愛いです。Buzzer(赤)



### C. Steenvoorden BV 社

テストハウスで育てられているユリは、ロットごとに管理されており、販売先で品質に問題が有った場合でも、テストハウスのものと比較することで、どこに原因があるかが分かるようになっています。



### Zabo Plant BV 社

現在八重の品種を「ローズリリー」のブランド名で展開しカラリーナ、エレナ、タリタ、ナタリア等を切り花としてテストしながら、他にも 20 種類ほど作っています。育種には少なくとも 7 年の歳月がかかると言われていますが、テストハウスでは品種の特徴を見極め、残すか見切りをつけるかを判断しています。今後 3、4 年の間には八重の優良品種が出て来ると考えられています。



### World Breeding BV 社



Terrasol（オレンジ）が有望です。

### Mak Breeding BV 社



カールが可愛い Campain（赤）

### VWS Export - Import of Flowerbulbs BV 社

5 月 21 日 VWS テストハウス前で、各国プレス関係者を招いて、フロリアンサイドさんのデモンストレーションが行われました。たくさんのユリを使ったデザインではなく、少ない本数でも簡単に個性的に作れるアイデアが見所でした。空き瓶にドライグラスを巻き、ユリを投げ入れる、いろいろなシーンに応用が出来るデザインでした。デモンストレーションの後に開かれたワークショップでは、参加した各国プレス関係者が、自由にユリを選びオリジナリティー溢れる作品作りに夢中になっていました。





(上) 花の小さいアジアンティックは可愛い八重の  
ピンクの Noelle's Favorite (ピンク)

(下) コンペイ糖のような Magic Star



(左) 11-601 オリエンタル八重のピンクが素敵です。

(右) 花粉のない Vendome(ピンク)



ボックス栽培と土耕の成長の違いを見る事ができました。Agostini (白)

(右 2 枚) 上向きが主流の中、魅力的な下向きに咲くユリ Lankon

(中央) リリーアベニューでも話題になった Kushi Maya

## ■ 「今が植え時！」春咲球根(ドライセール)商戦真っ盛りのオランダを取材しました

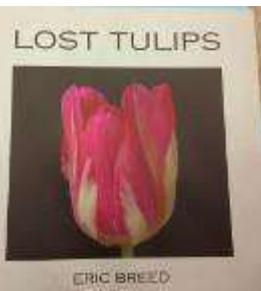
### ○ キューケンホフ公園の球根市 (Keukenhof Bloembollenmarkt)



キューケンホフ公園内で春咲球根の植え付け時期に合わせて毎年10月の第2または第3の週末の3日間（金曜日から日曜日）開催される球根市。その歴史は41年前から始まります。もともとは生産者が消費者にきちんとした品質の球根を知ってもらうこと、正しい植え方をしてもらうことを目的に出展販売するマーケットとして球根市場で開催されていましたが、25年前にキューケンホフ公園に移動しました。初日の金曜日は球根

愛好家が多く訪れ、希少価値のある球根や入手困難な品種を買い求めます。土曜、日曜は公園も解放されるので散歩がてらに訪れるお客様が多いようです。





(左) ニコさんとエリック・ブレードさん親子。現在では大量流通しない品種を生産して販売しています。お父さんが育てた今では珍しいチューリップはエリックさんが撮影し「LOST TULIPS」という写真集に収められています。



(上右) 希少価値のある球根ブース。17世紀のチューリップ狂時代に取引された「ZOMERSCHOON」の球根も販売されていたそうです。



(上左) 球根では咲いた状態を写真でしか見ることができないので、切り花も一緒に展示しているブース

(上右から2つ) たくさん植えるのに向いたコンテナに詰め合わせたミックス箱

(上右端) テーマを決めたコンビネーション商品もたくさん販売されています。

\*「ミツバチが来るコンビネーション」「ちょうちょが来るコンビネーション」など自然のお手伝いシリーズ

\*コンテナの色と合わせた色の花が咲くコンビネーション

(右) 農家らしい木箱のディスプレイ



#### ○ガーデンセンターでトレンドウォッチ

(下の画像左から) ガーデンセンター De Bosrand のバナー、店内売り場、オリジナルのコンビネーション詰め商品



球根は季節商品なので、駐車場から入り口に続く導線には何回も「球根の季節 今が植え時！」的なポスター・バナーが目につく位置に掲げられ、お客様を「そうか、球根 植えなくっちゃ」という気持ちにさせていく演出をしています。また、球根売り場は、お目当ての商品に行く前にすべてのお客様の目に入るよう入り口のすぐ近くに設けられ、球根を目的に買い物にきたお客様以外にもアピールできるようにしています。ガーデンセンターによっては、単独の球根会社が商品や売り方、POPの制作など総合的に売り場をプロデュースし、売り場に統一感を出していました。この年の売り上げによって翌年も

契約できるかどうかが決まるのでしょうか。

商品としては球根会社で企画した商品、店オリジナルで詰め合わせた商品などコンビネーションパッケージが人気のようです。企画商品は、「コンビネーションは割高」というイメージをなくすよう価格の安い球根も混ぜてたくさんの球数を入れているのが特徴です。



ガーデンセンター Intratuin は単独の球根会社が売り場をプロデュースしています。コンビネーション球根売り場 什器と開花時の大きな写真がセットで販売されています。



思わず欲しくなるようなパッケージ化された商品に足が止まります（上画像左がわの 2 つ）。ここでも環境との関わりを考えた商品がありました（画像左から 3 番目）。右の 3 つは左からそれぞれ、高級な品種、切り花にできる球根、宿根化する球根、などテーマに分けてディスプレイされています。

今回一番目を引いたのが「トリプルデッカー植え」コンビネーション商品！（右）ステップ 1, 2, 3 と分けられた球根のパッケージもかわいらしく、説明書も簡潔、プラスティック製ポット、土 × 2 袋の入ったセットです。まさにインスタント植え、ギフトにもピッタリです。

<http://www.tcdebosrand.nl/>

<http://www.intratuin.nl/>



## ○球根の町リッセ

リッセではこの時期、町の中心ショッピングエリアで住民の皆さんにチューリップとスイセンの球根 3,000 パックを配布していました。オランダではスーパーマーケットでも球根が販売されていて、大手アルバートヘインでは独自のパッケージ商品も制作しています。球根販売を見ようとリッセの大手スーパーへ行ったところ「この町ではスーパーで球根を買う人はいないでしょう？」との返事。球根はわが町の自慢です。



## ■ 豊明花き『JFI トレードフェア 秋』でドライセールと花芽付き球根の提案

9月27日 豊明花きで開催されました『JFI トレードフェア 秋』に参加しました。ブースでは、『豊明花き セレクション』として来春販売される『花芽付き球根』プロジェクトの提案と、『今が旬!』ドライセール球根について、お客様がどこに注目して、どのような動機で、球根を購入されるか、ヒヤリングしながらのテスト販売をさせていただきました。

主催者の話では、春ほど多くの出展者がなかった秋のトレードフェアでしたが、回を重ねるごとに出展者も増え、今回は多くの来場者の期待に応える見応えのあるトレードフェアとなったようです。

当日は、約1,000人の買参人（花店やスーパー・マーケット、量販店などのバイヤー）が新しい提案、新しい商品を求めて、全国から来場されました。球根という商材の特性から、咲いた時のイメージが出来ないので、商品として現物がない『花芽付き球根』は、アーティフィシャルフラワーを用いてイメージしやすいサンプルを用意し、切り花のチューリップ、ヒヤシンスで香りと質感を加えました。売り場での商品展開をイメージしてもらえるようにブースに彩りを演出しました。今回の「花芽付き球根」プロジェクトで使用するアップルグリーンのポットは、春の明るさを感じることが出来る商材として、買参人からの評判も良く、特に小さな6cmポットのムスカリは大変人気でした。

また、ドライセール球根も咲き誇る球根花のイメージパネルを掲示し、オリジナルパックラベルからお客様が何を購入の動機にされているか分かるように、壁面に球根を陳列し、5袋単位でテスト販売させていただきました。球根をご購入いただいた買参人の多くは女性で、パックラベルにある多くの情報やリアルに咲いた時の写真より、飾られたイメージ写真の方が選ばれています。このような傾向は従来の園芸店ではなく、切り花をメインにした花屋さんの方が多かったようです。また球根を良く知る園芸店のオーナーさんは、原種系、芳香性、色変わりなど希少性や高級感をパックラベルからの情報として求めていらっしゃいました。アーティフィシャルフラワーを使った春の演出が、ドライセールの売り場にも良い購入動機となったように思います。



【協賛会社（順不同）】

横浜植木株式会社 株式会社サカタのタネ アレナ株式会社 タキイ種苗株式会社 株式会社花の大和 新潟県花卉球根農業協同組合 有限会社ボナフィオリア タクト株式会社

## ■ 『豊明花き セレクション』花芽付き球根プロジェクトが始まります

『豊明花き セレクション』花芽付き球根プロジェクトが、JFI トレードフェア2014で発表されました。新緑・ECO・自然をイメージしたヨーロッパから直輸入のアップルグリーンの鉢を採用。4品種を同時期に統一した鉢で出荷できるので、春を演出した売り場が簡単に作れます。

ラインナップは、人気6品種セレクトのスイセン3球植え12cmポット、5品種のミニチューリップ3球植え9cmポット（新潟県花卉球根農業協同組合）、ヒヤシンスマルチフロー



ラ 12 cm ポット(志木フラワー)、ムスカリ 3 球植え 6 cm の手の平サイズポット(黒宮園芸)です。

2015 年 1 月上旬出荷予定でどれも低温処理により花芽を付けた状態の「花芽付き球根」です。

【お問合せ】 豊明花き(株)販売部 企画開発課 横岸澤

TEL 0562-96-1191 FAX 0562-96-1192

\* 「花芽付き球根」については右サイトをご覧ください <http://www.ibulbjapan.jp/works/hsb.html>



## ■ 「英国・ユリの大家に聞く」～RHSJ 主催サマーナイト・フォーラム 2014 レポート

8月 29 日 自由学園明日館で RHSJ(英国王立園芸協会日本支部)主催のサマーナイト・フォーラム 2014『英国・ユリの大家に聞く』が行われました。



RHS ユリ部会副委員長の、アリストー・エアドさんによる、英国人が見る日本のユリについて講演されました。アリストーさんは 1960 年代からユリを栽培する、日本原産種を熟知した、種子からユリを育てるスペシャリストです。

日本のユリがヨーロッパに渡った歴史の旅は、ヨーロッパで最初に育てられたとされるエゾスカシユリ、1740 年頃の話しから始まりました。そして、1780 年代のササユリ、1805 年頃のヒメユリ(およそ 500 年前に描かれた日本最古のヒメユリを描いた「浜松図屏風」は日本最古のユリを描いたもの)、1805 年のオニユリ、テッポウユリ、カノコユリ、スゲユリ、1862 年にヤマユリが英國園芸界を席巻し、19 世紀後半からタモトユリとウケユリが琉球諸島から伝わった話しへと続きました。20 世紀になると、大量のユリの球根が日本から輸出され、多くの美しい交配種の親となりました。現在は、日本産ユリを親として組織培養された最新の交配種の球根が、オランダから輸入されています。世界で流通するユリが、日本原産種の DNA を受け継ぎ、人々を魅了しているのかと思うと、改めて日本の豊かな自然と共生に感謝し、ユリに愛着を持つ日本人の多くが、その姿通りに日本原産種の DNA を感じているからに違いないと思いました。



## ■ 『高知県リリーズファミリー』の設立総会が行われました。

8 月 6 日、高知県下のユリ生産者、関係者が一同に集まり、高知県産ユリの PR へ連携を図る『高知県リリーズファミリー』の設立総会が行われました。初年度は研修会を 2 回行う方針などを決め、国の補助事業を活用して、2015 年 1.2 月にユリの品種コンテストや「花育」に取り組む予定にしています。新たに選出された森田浩明会長を始め 16 名の新役員による、ユリ生産の未来と今後の連携した取り組みの話しを受けて、集まった高知県下 82 名のユリ関係者がまた意識を新たにしました。

総会後の講演では(一財)国際花と緑のセラピー協議会の青山克子理事長により、ユリがもたらす癒しの効果について、他の花と対比しながら分かりやすく説明して下さいました。ユリの持つ潜在的な可能性の高さに改めて感心しました。また、多くの若い生産者が興味深く聞き入っているのがとても印象的でした。花き振興法の制定で高まる気運を最良のタイミングと捉えて、一步踏み出した『高知県リリーズファミリー』の動きに今後注目が集まる事でしょう。



## ■ 高知の花で「いい夫婦の日」 11 月 22 日に東京・二子玉川で展示イベント開催



11月22日の「いい夫婦の日」にあわせて、またプレ・クリスマスイベントとして、東京都にある商業施設「二子玉川ライズ」で、高知県の花の展示イベントが開催されます。高知県を代表する花「ユリ」「グロリオサ」「ブルースター」を使った「リリーウォール」や「リリータワー」がお目見えし、会場を華やかに装飾します。見て、触れて楽しめる空間を演出しますので、ぜひ多くの皆様のご来場をお待ちしております。

●日時 11月22日(土)・23日(日) 10時～21時

●場所 「二子玉川ライズ」イベント広場「ガレリア」(東京都世田谷区玉川)

●主催 新需要開拓マーケティング協議会

## ■ 北九州花口マン祭 2014 にリリーエンジェル柳美津絵さんが参加します！

11月16日 10:00～17:00 リバーウォーク北九州で開かれる「北九州花口マン祭 2014」に、福岡県うきは市出身の



リリーエンジェル柳美津絵さんが、ステージでの挨拶からユリのPRを行います。

イベントはフラワーデザイナーたちのコンテスト「北九州カップ争奪フラワーデザインコンテスト」や、小学生たちのアレンジメントコンテスト「ちびっこカップ」をはじめ、アレンジメント教室などのワークショップ、各産地のお花の展示など、盛りだくさんの内容です。お花の展示コーナーでは北九州生花商協同組合さまによる「JAにじ球根部会 レインボーリリー」のユリ展示もあり、リリーエンジェル 柳美津絵さんがみなさまのご来場をお待ちしております。

## ■ リリーエンジェル 2015 予告ムービーを公開！

リリーエンジェル 2015 予告動画を公開しました！ 全国のユリ生産者の家族から選ばれた12名のリリーエンジェルたち。リリーエンジェル2015は11月28日(金)に発表です！この発表にさきがけて、新メンバーのカレンダー撮影のようすを公開！発表が待ちきれない！ [www.lily-promotion.jp/angel](http://www.lily-promotion.jp/angel)

## ■ リリーエンジェル 2014 活動報告 8月から10月

● なにわ花いちばで開催の 新潟県 JA 切花協議会主催の「にいがたユリサンクスフェア」に新潟市のリリーエンジェル近藤香澄さんが参加しました（10月3日）

\* 「リリーエンジェル」の Facebook ページ

<https://www.facebook.com/lily.angel.jp>

\* リリーエンジェル・プロジェクト 詳しい情報はウェブで

<http://www.lily-promotion.jp/program/>



## ■『フローリスト』11月号 ~愛おしきユリに迫る YOUR LILY ~16ページの大特集



フローリスト11月号、~愛おしきユリに迫る YOUR LILY~16ページの特集です。ベネチアでのリリーウェディングの美しい写真（8P）やユリの新しい品種ってどのようにして生まれるの？など盛りだくさんの内容です。

○ オランダ国王夫妻が国賓として来日されます。ウィレム・アレキサンダー・オランダ王国国王陛下および同マキシマ王妃陛下は10月28～31日の日程で来日されます。滞在中、天皇皇后両陛下は同国王王妃両陛下とご会見になるほか、宮中晩餐会を催されます。オランダから国王が来日されるのは1991年のベアトリックス女王以来のことだそうです。少しでも日本を楽しまれるといいですね！



■ アイバルブ・ジャパン・ニュースレター2014年9/10月号（第016号） 発行：アイバルブ・ジャパン

■ H P : [www.ibulbjapan.jp](http://www.ibulbjapan.jp) メールアドレス：[ibulb@aurorajp.com](mailto:ibulb@aurorajp.com)